

Think Tank of Mutual aid 相互扶助を実践するシンクタンク

Monthly Note

一般財団法人 全国勤労者福祉・共済振興協会

発行人：神津 里季生

編集責任者：柳下 伸

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-11-17 ラウンドクロス新宿 5 階
TEL 03-5333-5126 (代表) FAX 03-5351-0421
https://www.zenrosaikyokai.or.jp/

シンポジウム・研究会等 TEL 03-5333-5127 (調査研究部)
各種共済保険 TEL 03-5333-5128 (共済保険部)
(営業時間 土・日、祝日を除く月～金曜日 9:00～17:15)

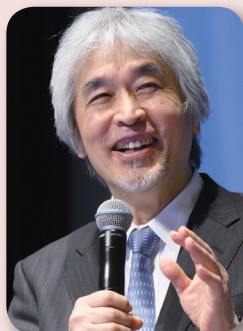


CONTENTS

- シンポジウムの動画を公開しました P1
- 「実りあるセカンドライフをめざして」2023年版を発刊しました ... P2
- 電気火災を知っていますか P2

シンポジウムの動画を公開しました

全労済協会シンポジウム あらためて見つめなおす『人と人とのつながりの価値』



山極壽一氏



玄田有史氏

2023年2月13日（月）に開催した、全労済協会シンポジウム「あらためて見つめなおす『人と人とのつながりの価値』」の動画を当協会ホームページで公開しました。視聴申込みをいただければ、どなたでもご覧いただけます。ぜひご覧ください。

【第1部】 トークセッション（約60分）

山極壽一氏（総合地球環境学研究所長、前京都大学総長）
＜聞き手＞渡辺真理氏（アナウンサー）

【第2部】 特別対談（約50分）

山極壽一氏・玄田有史氏（東京大学社会科学研究所教授）

◎視聴方法：当協会ホームページで視聴申込みのうえご覧ください

◎視聴期限：2023年8月末(予定)

※視聴期限は変更になる場合があります。



詳しくは全労済協会ホームページをご確認ください。▶

<https://www.zenrosaikyokai.or.jp/>

全労済協会

検索

「実りあるセカンドライフをめざして」2023年版を発刊しました

労働組合等における退職準備教育研修会用のテキストとして、当協会では毎年、冊子「実りあるセカンドライフをめざして」を発刊しています。本テキスト1冊で、定年退職前後に考えるべき・備えるべき事項が網羅されており、労働組合や企業の人事担当の方など、多くの皆様にご活用いただいております。

また、当協会が実施している「退職準備教育研修会/コーディネーター養成講座」のテキストとしても使用しており、2022年度の講座（オンライン開催）は、全国各地から358名、過去最多の方に受講いただきました。

このたび、新しく2023年版を発刊しました。ご興味のある方はぜひ一度ご覧ください。



A4サイズ100ページ、フルカラー

■テキストの購入方法と資料ダウンロードのお知らせ

テキストは1冊300円（送料無料で）ご提供しています。

（振込手数料はご購入者様負担となります）

購入のお申し込みは当協会ホームページにて受け付けております。

また、ホームページでは生活設計などに使えるワークシートもご用意しています。ダウンロードして自由にご活用ください。

<テキストの章構成>

序章：定年後の準備状況をチェックしよう

第1章：実際に生活設計に取り組もう

第2章：リタイア後の暮らしの見直し方を学ぼう

第3章：リタイア直前の準備

第4章：望む暮らしをまっとうするために



電気火災を知っていますか

電気火災とは電気機器や配線器具などが原因となって発生する火災を指します。

消防庁による2021年の火災統計を見ると、建物火災の出火原因のうち、3位が電気機器、4位が配線器具と上位を電気火災が占める傾向になっています。



こんろ	たばこ	電気機器	配線器具	放火
2,617件	1,721件	1,413件	1,187件	1,072件

総務省消防庁 火災統計(令和3年)より



特に身近なところで気を付けたいのが、プラグやコンセント、コードを原因とした電気火災です。たこ足配線による発熱や、プラグのコンセントへの差し込みが甘かったり、変形していたりすると過熱状態になり出火する恐れがあります。

現在ご使用の電気機器や配線器具の定期的な点検はもちろんのこと、万一の時の経済的損失に備えるために火災保険(建物、動産)に加入しているかご確認ください。もし加入していなければ、この機会にぜひ、当協会「法人火災共済保険」の活用をご検討ください。

